



JAPAN FOUNDATION

報道関係各位  
プレスリリース

国際交流基金

ASIA center  
JAPAN FOUNDATION

2017年9月6日  
No. 2017-032-1/2

## アジアセンター、講道館と連携して ASEAN 全域対象に初の柔道交流 3 年計画 「日アセアン JITA-KYOEI PROJECT」始動 9 月 27 日（水）に柔道デモンストレーションを公開

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）アジアセンターと公益財団法人講道館は、平成29年度から平成31年度までの3年間、技術指導、教材作成等により、交流強化、人材育成、ネットワーク構築の促進を目指す、ASEAN 全域を対象とした本格的な柔道交流事業「日アセアン JITA-KYOEI PROJECT」を3年計画で開始しました。

2017年9月12日からは、国際柔道連盟に加盟しているASEAN 9か国の若手指導者の招へいを予定しています。国際柔道連盟に加盟しているASEAN9か国から各国2名ずつ（計18名）を日本に招へいし、柔道の理論と技術を習得する合宿形式のセミナーです。最終日の9月27日（水）には、講道館の上村春樹館長も出席して、参加者へセミナーの修了証を授与するとともに、招へいした若手指導者等による柔道のデモンストレーションを公開します。



プロジェクトロゴマーク



国際セミナー 稽古風景イメージ（平成28年度の国際セミナーの様子）

### ■柔道デモンストレーション概要

- 開催日：平成29年9月27日（水）11:00～11:35  
 会場：講道館 7階 大道場（所在地：東京都文京区春日 1-16-30）  
 都営地下鉄三田線・大江戸線「春日駅」徒歩1分  
 東京メトロ南北線・丸の内線「後樂園駅」徒歩3分  
 出席者：講道館 館長 上村春樹  
 国際交流基金アジアセンター 部長 下山雅也  
 講道館 国際部長 藤田真郎  
 ASEAN9か国（インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス）からの招へい者（若手指導者）18名  
 内容：11:00～ プロジェクト概要説明（講道館 国際部 大辻 広文）  
 11:03～ 招へい者による柔道デモンストレーション（投の形）  
 11:13～ セミナー修了証授与および招へい者代表挨拶（英語によるスピーチ、逐次通訳つき）  
 11:18～ 主催者挨拶  
 2020年を見据えた本プロジェクトへの意気込みについて（講道館 館長 上村春樹）  
 11:23～ 講道館との共催に至る経緯説明（国際交流基金アジアセンター部長 下山雅也）  
 11:25～ 実施済みの事業における成果報告（講道館 国際部長 藤田真郎）  
 11:30～ フォトセッション  
 （上村春樹館長・下山雅也部長・プロジェクトロゴ入り柔道着を着た招へい者18名）

※当日ご取材いただける場合、別紙「取材申込書」にご記載の上、FAX もしくはメールにてコミュニケーションセンター宛にご連絡ください。

主催者・本事業に関するお問い合わせ：国際交流基金アジアセンター文化事業第2チーム（担当：小島）

Tel: 03-5369-6025 / Fax: 03-5369-6141 / E-mail: Kei\_Kojima@jpf.go.jp

取材に関するお問い合わせ：国際交流基金コミュニケーションセンター（担当：二村、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

## ■「日アセアン JITA-KYOEI PROJECT」について

本プロジェクトは、日本発祥で世界的スポーツとして発展した柔道を通じて、東南アジアの ASEAN 各国との文化交流を促進する上で、現地で必要なニーズに応じて効果的に実施するため、平成 29 年度から平成 31 年度までの 3 年間、人的交流、技術指導、教材作成等により、交流強化、人材育成、ネットワーク構築の促進を目指すプロジェクトです。

アジアセンターと講道館は、東南アジアにおける柔道事情の把握が不可欠であるとの理解のもと、2016 年 11 月、国際柔道連盟に加盟している ASEAN の 9 か国の柔道連盟会長ら計 18 名を日本に招へいし、各国の柔道に関する情報交換を行う会議を実施しました。その結果、要望が最も多く挙がった指導者育成および日本の柔道指導者の現地派遣を中心に計画を練り、今年度から本格的にプロジェクトを開始しました。また、柔道連盟が存在しないブルネイにおいても、現地ニーズの調査等を皮切りに、柔道普及に取り組んでいきます。

本年度に実施を予定している取り組みは、ブルネイにおける柔道事業の可能性や方針を検討するための調査（今年 5 月実施）や、ミャンマーへの指導者派遣（今年 5 月実施）に加えて、国際柔道連盟に加盟している ASEAN 9 か国の若手指導者招へい、タイ・ラオスへの指導者派遣、柔道用語辞典（日本語）の英訳などを実施予定です。



ミャンマーでの指導の様子（平成 29 年 5 月）



ブルネイ調査・デモンストレーションの様子（平成 29 年 5 月）

## ■平成 29 年度事業について

### 1、ブルネイ調査（5 月 14 日～19 日 実施済み）

ブルネイにおける柔道事業の可能性や方針を検討するための調査およびデモンストレーションの実施。また、経由地のシンガポールにて柔道家向けのワークショップを実施。

### 2、国際セミナー（9 月 12 日～27 日）

国際柔道連盟に加盟しているアセアン 9 か国より各国 2 名ずつ（計 18 名）の若手指導者を日本に招へいし、柔道の理論と技術を習得する 16 日間の合宿形式のセミナーを実施。

### 3、指導者派遣

アセアン 3 か国に向け、指導者を 1 週間程度派遣。今年度はミャンマー（5 月 17～25 日 実施済み）、タイ（12 月予定）、ラオス（2 月予定）。

### 4、SEA ゲーム 視察・交流（8 月 23 日～28 日 実施済み）

8 月 25・26 日にマレーシア・クアラルンプールで開催された SEA ゲーム（東南アジア競技大会）視察、および各国の柔道関係者が集合する機会を捉え、情報収集のための会議を実施。

### 5、柔道用語辞典英訳

普及活動に広く活用するため、柔道用語辞典（日本語版）を英訳し、講道館ウェブサイトで公開予定（2018 年ごろ）。

## ■JITA-KYOEI（自他共栄）について

「その団体・社会を組織している各成員が、その他の成員と相互に融和協調して、共に生き栄えること」「人間と社会の進歩と発展に貢献すること」という意味で、講道館柔道の創始者、嘉納治五郎による教えの中で最も重要な言葉のひとつです。アジアの人々のあいだに共感や共生の心を育むというアジアセンターのミッションとも共鳴しあう、本事業の趣旨を体現するこの言葉をプロジェクト名としました。